

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小野産業団地プロジェクト	階数	地上2F
建設地	兵庫県小野市山田町字池ノ谷1991-	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	24人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年9月 予定	評価の実施日	2025年7月25日
敷地面積	20,404 m ²	作成者	柏木 美月
建築面積	2,780 m ²	確認日	2025年7月25日
延床面積	3,035 m ²	確認者	柏木 美月



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 省エネルギー、省資源、リサイクル性能といった環境への配慮とともに、室内環境の快適性、建築物の長寿命化、景観への配慮なども含め建築物の総合的な環境性能を評価できるように計画している。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 化学汚染物質の発生が少ない建材を中心に使用し、また居室には適宜開口部を設けることで、室内空気環境の向上に配慮している。	Q2 サービス性能 事務室をはじめ他主要な居室はゆとりのある天井高さの確保、また休憩室といったリフレッシュスペースを確保することで快適性の向上に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 計画建物をできる限り道路から隔離する配置とし、圧迫感を軽減している。また空地部分の緑を残すことで周辺環境に対して良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー 関連法規を遵守し、省エネルギー性能を確保する。	LR2 資源・マテリアル 節水性能への配慮を行う。	LR3 敷地外環境 CO ² 排出率を低減し、環境への配慮を行う。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される